

# 「家がいいね」 第33号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2007. 2. 10

暖冬が続きます。伊勢では雪景色を見る事もなく、花の季節を迎えるのかもしれない。

さて気持ちに余裕があれば度会橋を東進する時に、少し遠くを写真のように眺めて見てください。正面の奥に見える山は、安土(模擬) 城で二見の三津らしいと分かります。

遠い景色は、何もさえぎる物の無かった時代を想像させます。ちょうど真東、月の出や、朝日を拝む時に、原風景を思い起こしては如何でしょうか。



## コンビニと、医療と

日赤病院・伊勢病院・志摩病院で、診療科が次々閉じられています。医者退職後を補充出来ず、「病院崩壊」まで危惧される事態です。私がこの地区の勤務医だった10年前でも、危機は潜在しました。最大の負担が救急当番です。初対面の患者さんに次々に対応して、寝る間もありません。さらに当直勤務を挟んで、前後2日の36時間は、検査・外来・病棟回診・研究会など普段どおりの義務があります。勤務明けで帰る看護師が羨ましく思えました。いわば体と命を削る勤務でした。

この10年コンビニは増えました。24時間の大量消費で、裏を見れば廃棄まで気楽なシステム化です。同じ感覚で、自分の都合を優先し救急病院へ行くのは当然と考える人が増えたようです。

食物の命も再生を考えないと、獲り尽し絶滅へ追い込みます。医療スタッフの再生も守って行かないと、わが命を守る最後の砦も危うくなります。

## 第5回 がん患者とサポーターの集い

がん相談会のアドバイザーとして参加します。誰でも参加できる会です。

2月25日(日) 11時半～16時半  
アスト津 4階ホール(津駅東口)

無料(申し込み制) 定員200名

1・講演(12時45分～13時半)

「がん拠点病院として取り組むべき地域連携緩和医療について」 坂井 隆 先生

国立三重中央医療センター 副院長

2・講演(13時半～15時)

「健康情報の読み方」 坪野 吉孝 先生

東北大学医学系研究科臨床疫学分野教授

3・がん相談会(15時15分～16時半)

呼吸器・乳・消化器・大腸・在宅医療・介護  
ペインコントロール、口腔・子宮・泌尿器・  
血液、リンパ、小児・心のケア

申込先・三重県健康管理事業センター事務局

電話 059・228・4502

FAX 059・223・1616

## 辺境に人の生きる道筋を見る

効率偏重や真ん中志向が嫌いでも、地べたを這っているだけの私です。ほぼ同年代の関野さんは、本当に世界を端から端まで歩き回り、医療が必要だと医師にもなり、異文化の中で遙か昔の移動に思いを馳せ、交流に心を砕く人です。

## 映画「ブージェ」と関野吉晴さんトークライブ

2月11日(日) コレ1回の、一期一会です

13時半～15時20分 「ブージェ」上映

15時半～16時半 関野吉晴さんのトーク

場所・伊勢市・進富座本館(120席)

料金・前売3000円(当日3500円)



自宅での人生を  
最期まで支援します

〒516-0805

三重県伊勢市御園町高向 927

電話 0596-20-8104

ファクス 0596-20-8105

mail [homecare@kr.tcp-ip.or.jp](mailto:homecare@kr.tcp-ip.or.jp)

<http://www.tcp-ip.or.jp/~takuro>